

きょうされん愛知支部(略称: あいされん)愛知県との懇談会開催 9.22

障害のある仲間たち、家族、職員合計82名参加 愛知県からは障害福祉課をはじめ11名参加

きょうされん愛知支部は、8月7日に愛知県知事への要望書を提出しました。その後、県から文書回答があり、9月22日には愛知県庁にて懇談会が開催されました。
(きそがわ福祉会からは8名参加)

9つの市町の事業所の家族・職員「やままい会」利用者部会から発言
発言のあった事業所は、小牧市、江南市、清須市、稲沢市、一宮市、岩倉市、知立市、瀬戸市、春日井市から愛知県下の広域から日々の実情や切実な要望が出されました。やろまい会(きょうされん愛知支部利用者部会)からも発言がありました。

愛知県の独自支援策について意見交換
質疑の時間帯では、愛知県の独自支援策に関して主に次の3つの内容がポイントとなりました。

- ①グループホームでの休日、余暇の支援の充実や通院支援等の体制確保等の愛知県独自支援策
- ②生活介護事業所において支援度の高い利用者対応に対する愛知県独自支援策
- ③介護職員確保が著しく厳しい社会情勢における人材確保にむけての愛知県独自支援策

愛知県と比べて進んだ施策を進めている自治体を調査研究...との回答も
懇談を進めていく中で、右記の内容に関して、名古屋市中その他自治体との比較による愛知県施策の前進を望む発言もいくつか出される中、障害福祉課からの回答で、そういった施策について、作られた経緯や内容について調査研究をしていき、可能なことを取り入れていく努力をして頂く話も聞くことが出来ました。



写真(9.22に改めて要望書提出)
右:きょうされん愛知支部長の鈴木峯保氏
左:県障害福祉課課長補佐の石黒弘喜氏

きそがわ福祉会だより

地域の中でともに育つ事業所めざして 2017年11月15日発行 No.102



ハロウィンパーティー(*^*)(玉の井ホーム)



めぐもいホームの夕方のひと時



ヘルパーさんと余暇の外出

休日にホームからヘルパーさんと野球観戦に外出しました。来年こそはがんばれドラゴンズ!!!

きそがわ福祉会には、暮らしを支えるグループホーム住居が12か所(サテライト型住居含む)あります。ホームでは現在55名の人が暮らしています。併設型で短期入所の部屋は7室あります。ホームで暮らす55名の日中活動の場は、法人内通所事業所が48名、他に一般就労の人や他団体の就労継続支援A型事業所を利用されている人が7名です。
現在、13か所目のホーム「なごやかホーム(定員7名)」(平成29年度整備、28年度国・県・市補助事業で新築)開所にむけて準備を進めています。

発行 : 社会福祉法人きそがわ福祉会

〒493-0006 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12番地3

電話 0586-86-3960 FAX 0586-86-3937

愛知県のグループホーム運営補助金

関係者に辛い減額改定(29年度から)

障害のある人の休日の暮らしを支援するための補助金
休日には普段より職員体制が必要
休日でのグループホームの職員体制は、普段より多数の職員配置が必要で、理由は日中の暮らしの時間帯と夕方から朝の暮らしの時間帯での両方の職員配置が必要であるからです。

休日に出かけたい人も多いが...
休日ならではの外出を楽しみたいと思っている人は多いはずですが、実際は休日の日中での手厚い職員配置は困難で、休日用の国の給付費単価は設定されていません。もっと色々な活動をしたい、実践していきたいと思う障害のある人や職員の思いがあっても、なかなか達成していくことが困難な状況です。そうした中で、休日のホーム運営に対する公的支援策として愛知県が独自に定めた補助金の要綱があり、一定の補助金が市町村を通して交付されています。

その愛知県補助金が減額される
この補助金が平成29年度から減額されました。(変更内容左表参照)
休日や余暇時間を今まで以上に豊かに過ごしていけるよう、色々と切り盛りをしながら、この補助金の一層の充実を期待していた中で、大変辛い改定となりました。

年度	障害支援区分4~6	障害支援区分3以下
29年度	休日の1人の利用者 支援に対して2,210円	休日の1人の利用者 支援に対して1,255円
年度	障害支援区分2~6	障害支援区分1以下
28年度	休日の1人の利用者 支援に対して2,210円	休日の1人の利用者 支援に対して1,255円

※障害支援区分2と3の人への休日支援補助金単価が2,210円が→1,255円に(一日当たり)減額

北海道に2500人が集う

第40回きようされん全国大会

当法人から7名参加

9月15・16日の2日間、北海道の札幌で「きようされん全国大会」が行われ、当法人から7名が参加しました。一人一人が様々な地域、立場の人達と楽しく交流して学べる貴重な機会となり、感銘を受けて戻ってきました。

2年後は愛知大会

来年は京都、再来年は愛知での大会となります。40年の歴史をつなぎ、愛知ならではの大会にしていくために、私たちも貢献していきたいと思えます。



△開会全大会で愛知の人たちがステージで歌う

きそがわ福祉会参加者7名の感想より抜粋

- ◆開会全大会で、愛知から参加の皆と共にステージで「おくりもの」を歌った。障害当事者の方がステージを盛り上げる姿が素晴らしく印象に残った。(Y・T)
- ◆人間の尊厳が蹂躪された「やまゆり園」事件で、被害者の方の実名報道が行われなかった問題や、犯人や社会の「優生思想」問題を改めて知った。(S・U)
- ◆国際交流講座の分科会で、香港でのピアサポートワーカーを雇用して当事者を受け入れやすい体制を確立している取組が勉強になった。(Y・E)
- ◆「枠をこえた相談・打って出る支援」分科会に参加した。一人の職員・責任者として、常勤や非常勤すべての風通しの良い職場作りの大切さを学んだ。(A・K)
- ◆アート&ライフ分科会で、絵を描く・陶芸をすること等を取り組む事業所報告で、作品作りに没頭する仲間の生き生きとした様子が印象に残った。(K・F)
- ◆藤井氏の基調報告で、国が進める「自助・共助」について問題意識を持って学び、さらに憲法問題を学び、障害者権利条約の大切さも改めて学べた。(M・M)
- ◆健康寿命を延ばす事が高齢期を迎える前の重要な課題、との提示が印象に残り、今ある力や経験を大切に、出来る「はず」の力にも着目し実践を進めたい。(N・Y)

三重県鳥羽に200人が集う

第14回きようされん東海ブロック泊交流会

10月27日・28日、三重県鳥羽市にてきようされん東海ブロック泊交流会が開催され、当法人からは職員2名が参加しました。

今大会には、静岡、岐阜、愛知、三重から総勢約200名が参加されました。主な内容を以下に記します。

●開会式の後、あいされん事務局長(全国常任理事)の大野氏による情勢報告

●「日中活動と就労保障」「地域と暮らし」「家族の思い交流会」の3つの分科会

●仲間企画としては遊覧船やシーパラダイスの2コースの観光

●参加職員からの感想抜粋
分科会は、交流しやすい人数で、質疑応答や多くの意見が出て、参加者の熱意と共にいろいろな考えを感じ取る事ができた。

●観光の企画もあり、次回は仲間と共に参加をする取組も考えてみたいと思った。

●仲間の高齢化や私たちを取り巻く環境に対する公的福祉制度のあり方に関する事及び私たちが地域との関係のあり方についての意見交換ができて有意義だった。

(A・T&K・R)



△10月27日鳥羽

安全運転月間の取り組み

▼10/20 安全運転実技講習



きそがわ福祉会として設置している安全運転委員会では、10月半ばから11月末の期間を法人安全運転強化月間に位置付けて3つの取組を進めていきます。

①安全運転実技講習

今年度に入って軽微な接触事故が増加しており、運転に自信が持てない職員に向けて実際に車を使っている安全運転講習を行いました。講習参加者は安全運転委員(自動車教習所勤務経験者1名含む)も含めて9名が参加し「駐車状態からバックで出て行く時にどんなことを注意すべきか」等実際に車を使って詳しく学びました。今後安全運転委員会として、安全運転技術向上の機会を保障していきたいと思えます。

②全職員対象で安全運転DVD学習

現在に当法人で発生している事故の特徴を分析して、適切な内容のDVDを選び全員で視聴学習を進めています。

③全職員が安全運転宣言を作成・見直し

右記のDVD学習後に自分が気をつける大切な内容3つを「安全運転宣言」として記入し、安全運転委員と管理者に提出する取組。



▲全事業所でDVD学習進行中

きそがわ作業所 一泊旅行

2グループ(9/7.8)、(9/21.22)に分かれ、一泊旅行に出かけてきました。

in 高山・古い町並みと牧歌の里



牧歌の里で乗馬初体験! 初めは緊張したけど楽しかったです



“陣屋”じゃ～



はちり〜! ホテルで撮った集合写真



美味しかったです

高山ラーメンやで〜!!



アルパカと集合写真可愛かったよ

招待行事に参加しました



8月27日(日)に今年も一宮遊技業協同組合様、東海テレビ愛の鈴様、のご厚意により映画鑑賞とマジックショーにご招待していただき充実した時間を過ごすことができました。映画『アーロと少年』では、仲間から「音の迫力にびっくりした」、「アーロと少年との友情にとても感動した」という声がありました。

タクマさんのマジックショーでは、一万円札を千円札に替えるマジックで会場は大盛り上がり、また箱に入ったお姉さんが消えるショーでは仲間みんなが驚いていました。楽しい時間を過ごさせてもらいました。ご招待ありがとうございました。



かき水屋さん「ゆうゆう亭」

ゆうゆうでは夏恒例のかき水屋さん「ゆうゆう亭」を今年も開催しました。

まずは一週間前にチラシを作って隣接するきそがわ作業所へ宣伝。「かき水屋さんやりますーきてくださーい!」と手渡しすると、みなさん毎年楽しみにしてくださっているようで、アツという間にチラシの配布は終了!

当日は「コーヒール」「ミルクティ」と新メニューも加え、少々緊張した面持ちでお客様を迎えました。次々とやってくるお客様でゆうゆう亭の中は大盛況。無事におもてなしてきたことで達成感いっぱい取り組みとなりました。